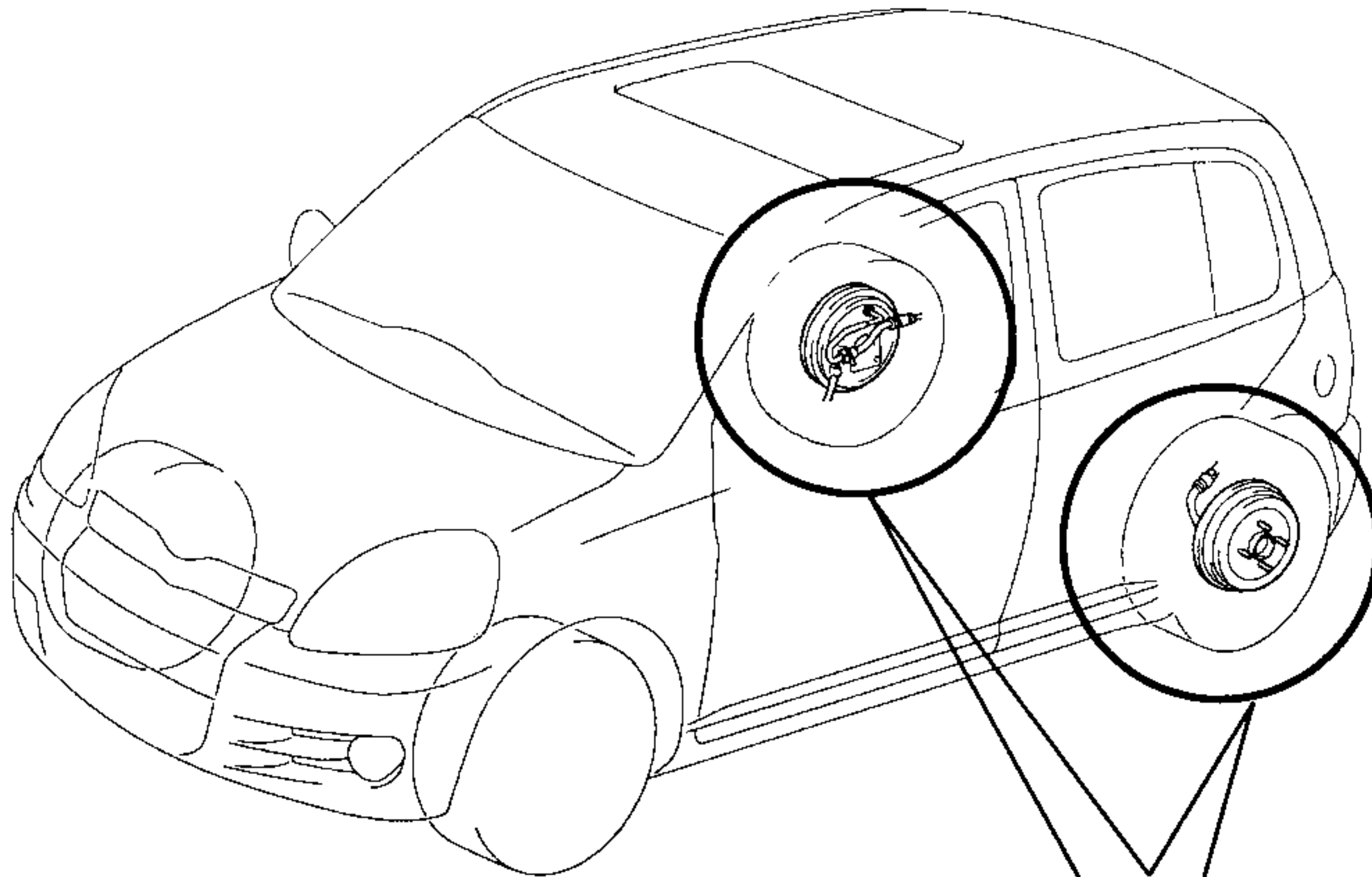


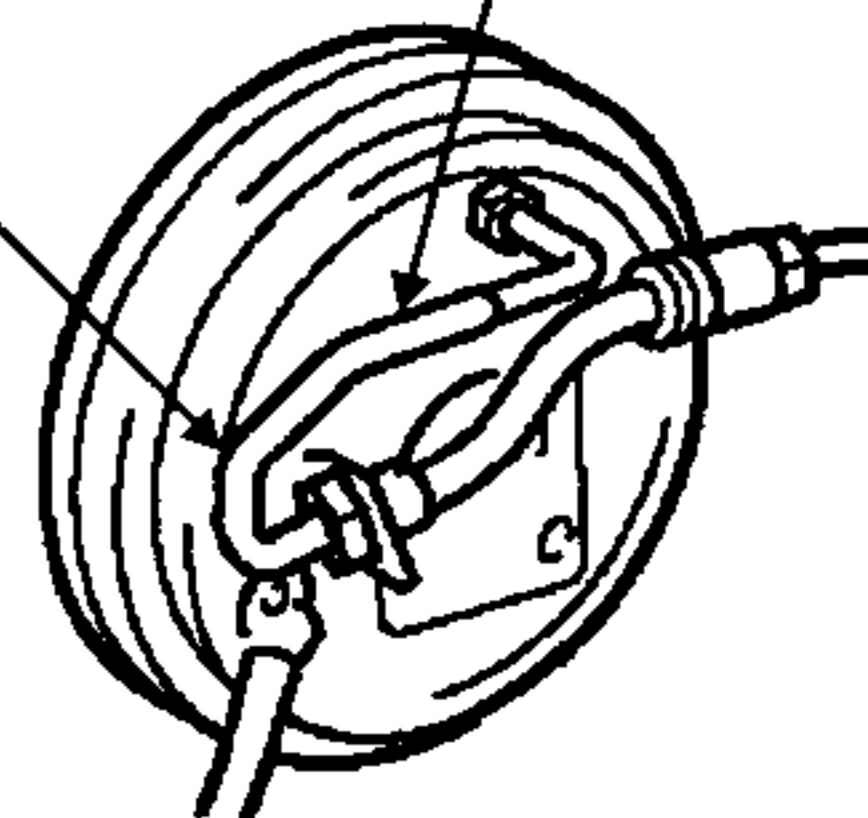
改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

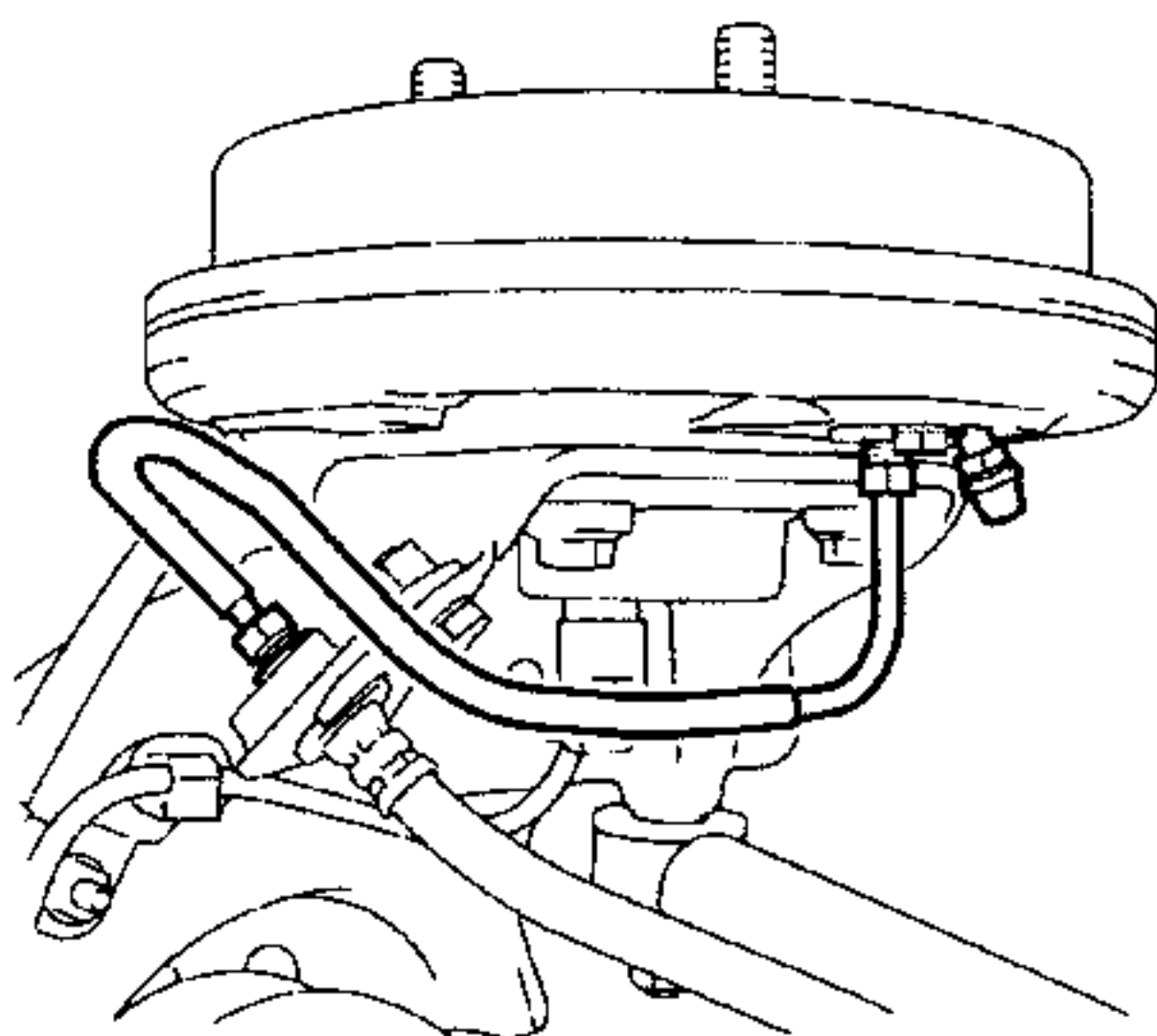
制動装置において、後輪用ブレーキパイプの形状が不適切なため、厳寒時新雪路面を頻繁な発進と停止を繰り返して走行すると、ディスクホイール内側に多量に堆積した雪が氷結し、当該パイプに干渉することがあり、このような状態が繰り返されると、最悪の場合、当該パイプが損傷して制動液が漏れ、制動力が低下するおそれがある。

後輪用ブレーキパイプ

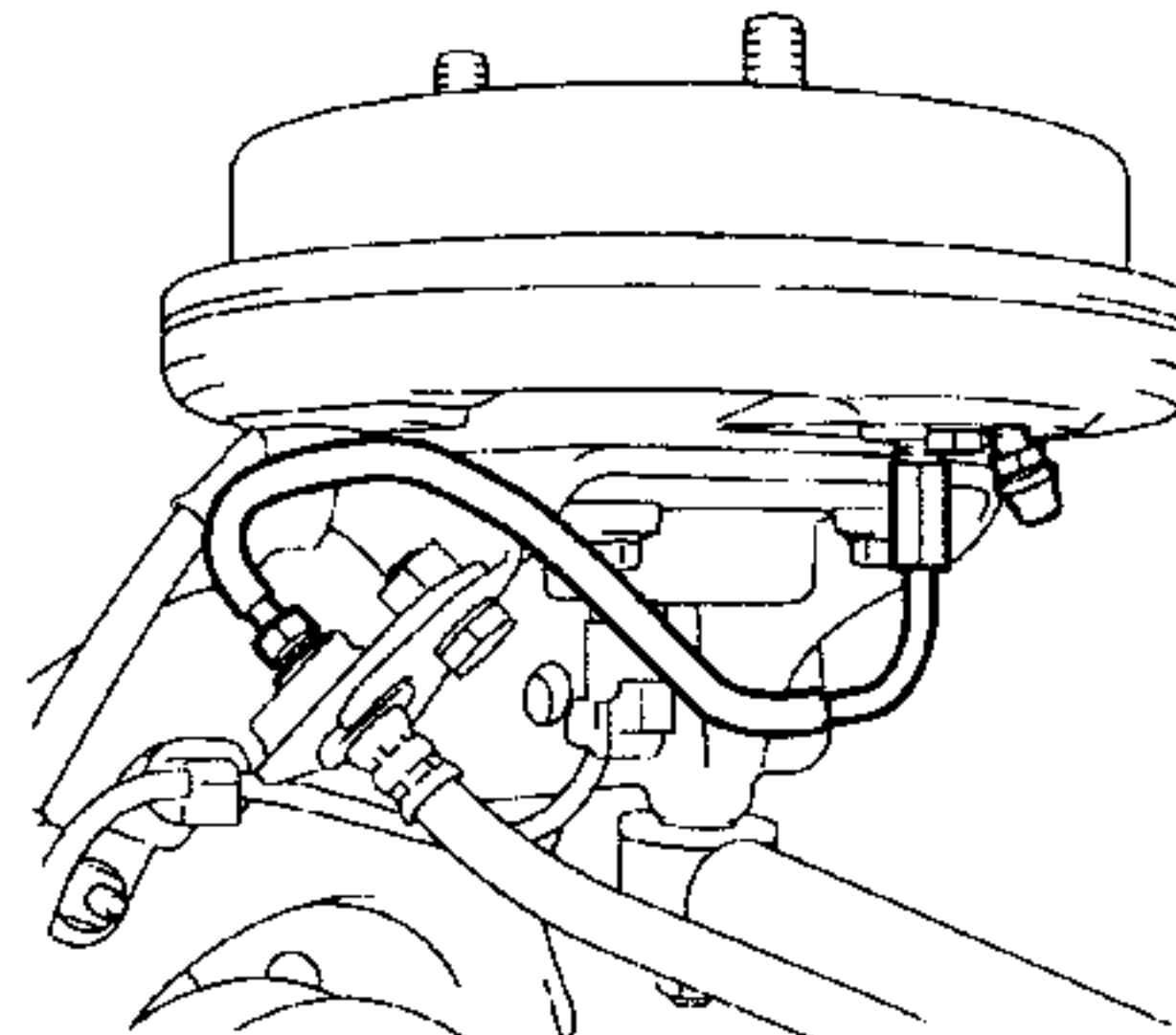


注： ☐ は交換部品を示す

改善前



改善後



改善の内容

全車両、当該後輪用ブレーキパイプを対策品と交換する。

識別：エンジンルーム右側のサスペンションアップパネル上面（車両内側）に黄色ペイントを塗布する。